

大阪府入札監視等委員会 入札監視第1部会 平成27年度第3回定例会議 議事概要

- 1 開催日時 平成28年2月16日(火) 午後1時30分から午後4時15分
- 2 場所 大阪赤十字会館 4階 401会議室
- 3 出席委員 5名
- 4 審議対象期間 平成27年8月1日から平成27年11月30日まで
- 5 会議の概要 審議対象期間中の、入札方式別の発注案件の状況、入札参加停止措置等の状況、談合情報等の処理状況について事務局、担当課から内容の説明を求めた上で審議を行った。

また、大阪府が契約締結した建設工事（予定価格 250 万円を超えるもの）、測量・建設コンサルタント等業務（予定価格 100 万円を超えるもの）、委託役務業務（予定価格 100 万円（物件の借入れについては、80 万円）を超えるもの）、物品購入（予定価格 160 万円を超えるもの）総契約件数 1,066 件の中から次の 13 件を委員が任意抽出し、事案ごとに担当の発注部局から入札・契約の過程及び内容の説明を求めた上で審議を行った。

(抽出事案一覧)

入札方式		案 件 名	契約金額(円)
建設工事	一般競争	一級河川 恩智川 治水緑地警報設備更新工事	232,200,000
	一般競争	一般府道 八尾道明寺線 歩道照明設備設置工事(近鉄八尾駅工区)	21,448,800
	一般競争	一級河川 尻無川外 尻無川水門外管理棟空調設備更新工事	9,666,000
	一般競争	山中溪地区近畿自然歩道整備(27)工事	10,798,920
	一般競争	動物愛護管理センター(仮称)進入路(27)整備工事	34,700,400
	一般競争	五領揚水機場建屋補修(27)工事	9,871,200
	随意契約	一級河川 寝屋川導水路 太間排水機場補機ポンプ設備取替工事	12,582,000
建コン	一般競争	都市計画道路 八尾富田林線 八尾空港内施設影響調査委託	9,288,000
	一般競争	土砂災害危険箇所基礎調査委託(茨木土木事務所)	16,653,600
委託役務	一般競争	平成27年度 公共事業労務費調査(10月調査)業務	8,834,400
	一般競争	タンデム型質量分析計付高速液体クロマトグラフ(LC-MS/M Sシステム)の賃貸借	23,242,464
	一般競争	一般国道 170号 外 街路樹管理業務(その7)(富田林土木事務所)	10,973,880
	随意契約	ものづくり紹介 WEB 制作業務	3,660,120

6 審議の結果： 抽出した13件の処理状況は概ね適正であると認める。

7 委員からの質問とそれに対する回答： 別紙のとおり

(別紙)

質 問	回 答
<p>【一級河川 恩智川 治水緑地警報設備更新工事】</p> <p>1者入札となった原因について、どのように考えているのか。</p> <p>施工上の制約で入札参加をやめるような例はよくあるのか。</p> <p>落札率が98.63%と高いということについて、どのように考えているのか。</p> <p>更新と増設の2種類の工事があるように思うが、それぞれを別案件として発注することで、増設工事について、競争性を確保することはできなかったのか。</p>	<p>本案件は、既に供用している設備の更新も含んでおり、その調整や施工上の制約があるのではないかと懸念から競争性が低くなったのではないかと考えている。</p> <p>例えば、施工手順や設備を動かすことが可能な状態を維持するとか、地区ごとに工事を施工しなければならない等の、施工上の制約があれば、入札参加者は手間のかかる工事と考え、応札に慎重になると思われる。ただし、本案件において実際に施工上このような制約があったわけではない。</p> <p>本案件は、工事費全体に占める機器費の割合が高い。また、この機器は本工事の仕様を満たすようオーダーメイドで製作する必要があるため、その価格の低減が難しい。このため、工事費の圧縮ができなかったのではないかと考えている。</p> <p>今回、供用設備の更新と新たな設備の増設が同時期となったため、一体の工事として一括発注した。一括発注により供用設備の仕様の制約を受けることがあるが、本案件は供用設備も含めて全て新たに製作するものであり、供用設備の制約を受けるものではない。また、分割発注に比べて工事費も安くなるうえ、分割発注して更新部分と増設部分で違う機器が入ると維持管理面においても手間もかかると考えて、一体の工事として発注した。</p>
<p>【一般府道 八尾道明寺線 歩道照明設備設置工事（近鉄八尾駅工区）】</p> <p>事後に失格となった業者があったという説明があったが、どのような内容か。</p> <p>事前にはわからないのか。</p> <p>落札率が高いことについてどのように考えているか。</p>	<p>第1順位となった業者について、事後審査を行ったところ、配置技術者を確保できず辞退したため、失格となったもの。</p> <p>応札時に予定していた技術者が、他の業務との配置の関係で確保できなくなったということであり、事前にはわからなかったのではないかと推察している。</p> <p>第1順位の90.67%で入札業者が失格となった結果、次順位の99.05%の業者で落札決定となった。落札率が99.05%となったのは、材料調達や自社の利益を勘案し、自社で施工できる金額で入札してきた結果、落札率が高くなったものと考えている。</p>

質 問	回 答
<p>諸経費をあまり低く抑えると最低制限価格内に収まらず、落札できないことも考えられるかと思うが、その点についてどのように考えているか。</p>	<p>最低制限価格は計算式も公表されており、予定価格が推測できればおのずと最低制限価格も類推できると考えている。</p>
<p>【一級河川 尻無川外 尻無川水門外管理棟空調設備更新工事】</p> <p>辞退者が多いように思うが、何か理由として考えられることはあるのか。</p> <p>落札率も高いように思うが、この点についてどのように考えているのか。</p>	<p>今回は、更新工事のため既存施設の中での工事ということになる。天井裏での作業が伴ったり、水門の試運転を実施する日は作業ができないなど、作業スペースや作業日に制約があることや非常に小規模な施工が3つの水門に分散しているということで手間がかかる割には利益が見込めないことから、他の案件と比較した結果、辞退者が多くなったのではないかと考えている。</p> <p>今回の工事は、空調設備の更新ということで機器価格が直接工事費の3分の2くらいを占めており、業者とメーカーの機器の取引価格が入札額に大きく影響したのではないかと考えている。</p> <p>また、現場での制約条件があるため作業効率があまり高くないことと、分散施工となることも勘案し、そこに一定の利益を見込んだ額で応札したので落札率が高くなったのではないかと考えている。</p>
<p>【山中溪地区近畿自然歩道整備（27）工事】</p> <p>応札者が3者しかなかったとのことだが、競争性を高めるため、入札参加資格の営業所所在地要件を広げるということは検討できなかったか。</p> <p>申込者は3者であるが、入札参加資格の条件を満たす業者はどのくらいいるのか。</p> <p>19者のうち3者しか申し込まれなかったということについてはどのように考えているか。</p> <p>この案件は人力作業であるとい</p>	<p>阪南市の山中での工事ということで、できるだけ現場近隣のエリアの業者を選定できるよう所在地要件を岸和田市以南で設定したが、今後は対象業者数を増やす意味でも地域要件の設定については、検討は行っていきたいと考えている。</p> <p>条件を満たす業者は19者。</p> <p>今回の工事は、ほとんどが人力作業であるということから費用が高くつく人件費と業者の利益を考慮し、申込者が少なくなったのではないかと考えている。</p> <p>人手がかかるということで、労務賃金が入札額のほとんどを</p>

質 問	回 答
<p>うことでそれが高落札率につながることにについて説明願いたい。</p> <p>予定価格と最低制限価格の幅が狭すぎるといえることはないのか。</p> <p>失格者がいるために、落札率が高くなったのか、失格者数にかかわらず落札率が高くなったのか、説明願いたい。</p>	<p>占めているため、高落札率につながったのではないかと考えている。</p> <p>予定価格と最低制限価格の差は150万円ほどあり、価格幅が狭すぎるといえるのではないかと考えている。</p> <p>入札した3者の入札額を見ると、最低制限価格を下回り、失格となったり、予定価格を上回ったりした者がいるが、失格者がでたために落札率が高くなったということではないと考えている。</p>
<p>【動物愛護管理センター（仮称）進入路（27）整備工事】</p> <p>失格者が多いように思うが、どのように考えているのか。</p> <p>失格者がいるために、落札率が高くなったのか、失格者数にかかわらず落札率が高くなったのか、説明願いたい。</p> <p>ビニールハウスの見積りは、どのような形でとられたか。</p>	<p>失格者が12者あったが、うち2者に協力を得て聞き取りを行った。1者は入札にあたって、ビニールハウスの建設業者に見積りをとっていたようであるが、建設時にはもっと安くできるとの判断で、低い価格で入札したとのことである。もう1者は、是非受注したいとのことで現場管理費等を低く見積もって入札したとのことである。</p> <p>それぞれ本工事を何とか受注したいと考え、低い価格で入札された業者が多かったのではないかと考えている。</p> <p>予定価格は、適正に算定していると考えている。また、入札の特記仕様書には、ビニールハウスの規格、材料等を詳細に記載している。今回は、落札するために低い価格で入札した業者が、最低制限価格を下回り失格となった結果と考えている。</p> <p>ビニールハウスに関しては、2者から見積りをとって積算した。</p>
<p>【五領揚水機場建屋補修（27）工事】</p> <p>辞退者、失格者とも非常に多いように思うが、これについて説明願いたい。</p>	<p>本工事は、農地用水の送水のためのポンプ場建屋の補修工事であるため、施設管理者と工程の調整を行い、運営の支障とならないよう工事を進める必要があるということ、2つめとして現場が住宅地に隣接していること、3つめに主な工事は壁面の補修や屋上の防水工事であるが、そのほかにも照明、電気設備、窓ガラスの交換などの工事があることから、規模の割に手間がかかるということで辞退者が多く出たものと推測している。</p> <p>失格者が多いという点については、反対に受注意欲の高い業者が、工期的にも秋に工事が終わるということで、次のことも考え、入札額を低く抑えようという努力が行き過ぎた結果では</p>

質 問	回 答
<p>入札書不着や辞退まで含めると最初は115者も参加している。最初に多く参加があったことについてはどのように考えているか。</p> <p>本来D等級業者の対象工事をB・C等級まで広げたことで、メリットはあったか。</p>	<p>ないかと推測している。</p> <p>昨年度発注した同種の建築工事の入札で、不落となった案件があったことから、入札参加可能等級をD等級に加えて、B・C等級の業者まで広げ対象業者を増やした結果と考えている。</p> <p>メリットとしては、母数となる対象業者が2000者ほどに広がり、うち5%程度の参加があったことで、不落が解消されたことが挙げられる。</p>
<p>【一級河川 寝屋川導水路 太間排水機場補機ポンプ設備取替工事】</p> <p>2回入札して取止め、結局随意契約したということだが、当初の予定価格の積算はどのように行っていたのか。</p> <p>2回入札して、2回とも予定価格の範囲内で入札した業者がいなかったというのは、当初の予定価格の積算に問題がなかったのか。</p> <p>見積り時と入札時の価格が違うのは、どのようなことが理由と考えるか。</p>	<p>1回目、2回目とも積算は同じ内容だが、機器の製作は見積り価格を採用し、あとは積算基準に則ったかたちで適正に積算している。</p> <p>2回目の入札では、予定価格算出基礎額の枠内に収まっていたが、ランダム係数が下振れし落札に至らなかった業者もいた。</p> <p>2回目は、1回目よりも幅広くポンプメーカーから見積りを取り、ポンプの価格も大分下ったようだ。業者はそこに会社の経費などを抑えて随意契約の見積りをしたものと推測している。</p>
<p>【都市計画道路 八尾富田林線 八尾空港内施設影響調査委託】</p> <p>5者申込があったうち、4者辞退となっているが、辞退が多かった理由としてどのようなことが考えられるのか。また、入札に参加が可能な業者はどのくらいいるのか。</p> <p>他の業務があり、入札参加資格を満たした担当者を確保できる業者が少なかったのか、入札者が少なかったということか。</p>	<p>入札参加可能業者は100者くらいはいるが、空港内施設の影響調査というのは、非常に特殊であることから、業務を遂行できる担当者が非常に少ないと推測され、その結果辞退者が多くなったと考えている。積算時の見積りにおいては、28者に依頼したところ、回答があったのは4者だった。</p> <p>おそらくそうかと思う。</p>
<p>【土砂災害危険箇所基礎調査委託】</p>	

質 問	回 答
<p>失格者が多いのはなぜか。また、最低制限価格に近い額で失格となっているところが多いことについてはどのように分析しているのか。</p> <p>ランダム係数の幅によっては、応札した業者は失格しなかったのか。</p> <p>ランダム係数について、問題はなにか。</p> <p>ランダム係数の影響について、分析しているのか。</p>	<p>辞退者 12 者を除く 11 者のうち、9 者が失格だが、この 9 者は最低制限価格を算出する際のランダム係数の範囲内で失格となっている。本件で失格者が多いのは、ランダム係数の結果、最低制限価格が高かったのに対して、業者の受注意欲が高く、ランダム係数を低く見積もって応札した結果、多数の業者が最低制限価格を下回る結果になったのだと思う。</p> <p>ランダム係数が一番小さかった場合は、応札者全者が失格とはならなかった。</p> <p>本案件は、9 者ともランダム係数の範囲内で、失格となったが、このようなケースは、実際に発生した頻度も少なく、稀なケースにとらえている。しかし、可能な限り回避する工夫は必要と認識しており、ランダム係数の上振れの影響をできるだけ防ぐために、入札参加者数を増やすなど、部局と調整しながら対応していきたいと考えている。</p> <p>過去数年の分析をしており、今回のような案件の発生率は 1 % もないと把握している。</p>
<p>【平成 27 年度 公共事業労務費調査（10 月調査）業務】</p> <p>申し込みが 1 者であったことについてどのように考えているのか。</p> <p>予定価格はどのように算定したのか。</p> <p>3 者へ見積りを依頼したということだが、大阪でこの業務を受託した実績のある業者はいるのか。</p> <p>随意契約を行うことなどは検討されているのか。</p>	<p>この業務の調査対象は、51 職種あり、色々な現場で携わっている労務者をそれぞれの労務に応じ仕分けを行い、法定内賃金を支払っているか、法定福利費はどのくらいかなど、適正に計算したものを積み上げていく作業で、基礎知識も必要となる。この作業を行い、全国で集計して翌年度の積算、設計に用いる労務単価に反映させるという流れ。</p> <p>この業務は、全国同じ物差しで、10 月という限られた期間内に全国一斉に行う業務であることから、実施する業者も限られてしまい 1 者という形になったものと考えている。</p> <p>過去 10 年間に実績のある業者のうち、3 者に見積りを依頼し、回答のあった 2 者から見積りから算定した。</p> <p>今回の落札者以外の 2 者は、大阪でこの業務を受託した実績はない。</p> <p>大阪の場合は、調査対象業者数が多く、200 社くらいあるが、地方に行くと調査対象業者数が少なくなることから、それなりに対応できる業者もある。現状は、一般競争入札として競争性を少しでも高めることが必要と考えている。</p>

質 問	回 答
<p>【タンデム型質量分析計付高速液体クロマトグラフ(LC-MS/MSシステム)の賃貸借】</p> <p>本案件の入札結果を見ると、落札率が低いようにも考えられるし、予定価格が高すぎるようにも考えられる。予定価格は妥当であったのか。</p> <p>予定価格の設定のため見積りを出した業者が、見積金額の半分以下で入札しているということについてはどう考えているか。</p>	<p>予定価格については、2者から見積りを徴取し、安い方の価格で設定した。この機械は数が多く売られているものではなく、見積書の価格も現行使っている機械の価格とそう差はなかったため、予定価格の設定は適正と考えている。</p> <p>実際に入札の段階になって、メーカー間の競争原理が働いてこの結果になったのだと考えている。</p>
<p>【一般国道 170号 外 街路樹管理業務 (その7)】</p> <p>ランダム係数が上振れしたために失格者が多くなったようだが、多くの失格者を出しながら、落札率が比較的低いこと、逆に言えば予定価格が高いことについては、どのように考えているか。</p> <p>他の案件でランダム係数の影響で失格者が多くなり、そのような弊害が起きないように考えたいとの話があったがこのケースではどのように考えているか。</p>	<p>当管内は、造園業を営んでいる業者が多く、直近4回を見ても110者程度の参加があり、非常に入札参加意欲は高いと感じている。</p> <p>業者は、最低制限価格を設計書からきちんと積算して、この価格ならばということで応札されていると思われるが、予定価格は建設物価等の歩掛により積算しているため積算方法を変えるとすることは考えていない。</p> <p>樹木管理業務には、ランダム係数を採用しており、1%の範囲内で小数点2位までが機械で自動的にはじき出されるようになっている。101通りの数値が出ることになり、下限値と上限値でいうと上限値のほうに上振れた場合は、失格者が多く出る傾向にある。逆に下限値に近ければ少なくなる。</p>
<p>【ものづくり紹介WEB制作業務】</p> <p>WEBでの企業紹介というところから考えれば、特定の業者に随意契約しなくてもいいように思うが、随意契約となった理由について説明願いたい。</p> <p>本業務の契約の相手方との随意</p>	<p>単に企業紹介のホームページを作成するのであれば、他にも作成する業者はいると思うが、この業務では販路開拓の支援業務もあり、既にWEB上で700社を得意分野や得意商品ごとにカテゴリー分けをして検索できるシステムを稼働している。そこに新たな企業を追加する業務なので、従来からこの検索システムを作っている業者でないとできないと考えられるため、随意契約を行ったものである。</p> <p>この情報発信業務は、平成25年度から開始しており、25年</p>

質 問	回 答
契約は過去から何件かあるのか。	度、26 年度にも本業務の契約の相手方と随意契約している。